

再生可能エネルギーに投資

公共施設の有効利用



鳩山ニュータウン旧地域下水処理場

第2回定例会

平成26年第2回定例会が6月3日から6月11日まで開催されました。提出議案は、条例の制定に関するもの3件、平成26年度一般会計並びに特別会計等の補正に関するもの3件、町道の廃止・認定に関するもの2件、専決処分承認1件、工事請負契約1件の10件で全議案とも可決されました。また請願が、1件提出され、採択されました。

旧下水処理場に 太陽光発電

公共施設の有効利用を図るため、鳩山ニュータウン旧地域下水処理場に太陽光発電システムを設置する。

工事の概要は建築物等の地上部分を撤去し、鉄骨で架台を組んで、約200キロワットの発電システムを設置するもの。

工事の執行方法は一般競争入札とし、希望業者2社が入札に参加し、その結果、株式会社田中工業が1億7800万円（税別）で落札した。

越辺川に親水公園

トイレや水道施設が

なく風通しも悪い。さらに水が全然見えないが、構想から工事に至るまでの経過は。

答 都市再生整備計画の中で構想を練った。

川から水を引き入れることやトイレの設置等も考えたが、国との交渉の過程で今の形になった。

下流側の改修時に、改めて親水について考えたい。

問 動物の解放の禁止を条例で規定しているが、危惧していることは。

答 公園で犬を離している方がおり、苦情がきている。解放はしないで頂きたい。

問 利用規定等を記した看板の設置は。

答 個別にまた必要に応じて掲示していく。

問 条例に反して使用した場合の罰則は。

答 罰則規定は設けてない。違反を繰り返すようなら入場禁止等、個別に対応する。



越辺川親水公園（赤沼）

一般会計補正予算

亀井農村センター

改築工事

本年度当初予算において工事費総額6400万円を計上したが、施設の有効活用を図るための設計変更や労務単価の改定等により、当初予算を上回るため工事請負費800万円を増額補正する。

問 今後発展させた場合、加工所として使えるのか。

答 6次産業化を進めているので簡単な加工試験ができ、果樹等を冷蔵保管できる設備を入れる。

問 元気臨時交付金を申請する段階での概算設計費と数か月後の実施設計費に差が出たと理解して良いか。

答 交付金の実施計画を策定した時も設計業者に発注をして、実施設計をしたが、敷地を有効活用するため擁壁を追加する。労務単価、資材単価も上がっている。

大雪による

農業被害

問 被災農業者向け支援事業の周知方法は。

答 説明会を開き、支援等を説明し、被災状況調査票を提出頂いた。

問 被災者の思い通りに申請できたか。

答 基準が出ており、それによって申請していたのだ。

問 ことしの仕事に対する対策は。

答 早く再建できるように手続きは行っているが、遅れる形になる。

〈反対討論〉

社会保障・税番号システム改修業務委託料と戸籍総合システム住基連携対応業務委託料で反対する。

個人番号の悪用と特定個人情報提供を拡大する事となる。(根岸)

意見書を国へ提出しました！

今回からご希望により、請願者の方のご意見を全員協議会の場で伺うことになりました。



改築予定の亀井農村センター

「手話言語法(仮称)」制定を求める意見書

手話とは、ことばを音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系をもつ言語である。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

2006(平成18)年12月に採択された国連の障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

障害者権利条約の批准に向けて日本政府は国内法の整備を進め、2011(平成23)年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に知らしめ、聞こえない子供が手話を身につけ、手話を学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要である。

よって鳩山町議会は、政府と国会が上記の内容を踏まえた「手話言語法(仮称)」を制定することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月11日

埼玉県比企郡鳩山町議会

国保会計補正予算

平成25年度の国保会計決算で、1042万4000円の不足になることが判明した。

この不足を法令(※注)に基づき、緊急的に平成26年度の国庫支出金を追加し、繰り上げ充用の支出を追加するもの。

要因として、高齢化の進展や医療給付の伸びなどが上げられる。

問 決算見込みの段階で財源不足が分かったのか。

答 その頃は、賄えらなかつたのか。

※注―歳入が歳出に不足するときは、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てることができる。

亀井小学校

校舎改修します

平成25年3月議会にて1億5065万円が補正予算に計上されたが、今年度に繰り越されました。

内装工事は夏休み中に、工事は10月末の予定です。この工事が終われば、すべての義務教育施設の改修は完了します。